

大総務第166号
令和4年3月9日

大阪市外郭団体評価委員会
委員長 野村 祥子 様

大阪市長 松井 一郎
(担当：総務局行政部総務課法人グループ)

諮問書

大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例（平成25年大阪市条例第10号）第7条第1項に規定する外郭団体であるクリアウォーターOSAKA株式会社による令和3年度の経営評価（対象事業活動）の結果及び所管所属である大阪市建設局による大阪市外郭団体の事業経営の評価等に関する指針を定める規程第6条第2項第1号イの規定に基づく当該経営評価の審査の結果について、同条例第7条第4項の規定に基づき、別紙により諮問します。

令和3年度 事業経営評価

団体名	クリアウォーターOSAKA（株）	所管所属名	建設局
-----	------------------	-------	-----

中期目標	(1) 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容
	下水処理場、ポンプ場、下水管路その他の本市の下水道施設全体を総合的かつ一体的に維持管理し運営すること。
	(2) 中期目標期間
	令和2年8月1日から令和4年3月31日までの1年8か月間
中期目標	(3) 中期目標の期間終了時において、(1)の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態
	本市の下水道施設全体を総合的かつ一体的に維持管理し運営できる体制が確保され、当該施設が中期目標の期間を通じて安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態

●最終年度【中期目標の期間を通じた評価】

外郭団体の自己評価	最終目標達成状況	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価
	イ ア：達成 イ：達成見込み （計画期間中） ウ：未達成	将来にわたって安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態であるための取り組み内容を含めた人材育成計画の策定に向けて、検討会議を重ね、研修の年間実施計画などを再整理するとともに、令和3年度には、人材育成計画を含めた新たな「中期経営計画」を策定する。また、実務経験を有し、かつ技術士（上下水道部門）資格を有する課長級の監修による「資格取得研修」を4回実施し、過去問題における出題傾向等を分析した模擬試験を実施した結果、「下水道管理技術認定」及び「下水道技術検定（3種）」において、この2か年度で目標値を上回る合計22名が合格し、目標を達成することができた。今後も現状の有資格者を維持するため、社員の技術力と知識の向上により技術継承が途切れることのないよう取り組んでいく。
中期目標の期間を通じた評価	市の評価	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価を踏まえた本市の総合的な評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体が指標とした、有資格者やベテラン技術者の監修による研修の実施及び資格取得（「下水道管理技術認定」又は「下水道技術検定（3種）」）については、すべて達成するとともに、人材育成計画も計画期間中に策定予定であり、団体における技術力を確保し、将来にわたって安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態を目指すための取り組みが効果的なものであったと考える。 ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、研修をオンライン形式とすることで、コロナ禍でも着実に実施するとともに、資格取得に向けた模擬試験後においては、解答に解説や助言を取り入れるといった習熟度を踏まえた対応を行ったことは評価できる。 ・ 次期包括委託においても本市の下水道施設全体を総合的かつ一体的に維持管理し運営できる体制が確保され、当該施設を安定的かつ効率的に維持管理し運営するため、今回策定する人材育成計画に基づく取組みを進められたい。
		助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理に関する条例第7条第5項】（※必要な場合のみ）

●最終年度【中期目標の期間を通じた評価】

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組一 (※分野ごとの評価)

中期計画	団体が中期計画期間中に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容									
	<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたって安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態をめざすための取り組み内容を含めた人材育成計画を立案し実施する。 ・有資格者やベテラン技術者の監修による研修を4回実施することで、下水管路の維持管理に係る資格である「下水道管理技術認定」及び下水処理場・ポンプの維持管理に係る資格である「下水道技術検定(3種)」の新たな資格取得10名(合計)以上をめざす。 									

中期計画達成状況	指標 I	有資格者やベテラン技術者の監修による研修の実施								
		R2	中期計画進捗率	R3【最終】	中期計画進捗率					
	目標値	4回	50.0%	4回	100.0%					
	実績値	4回	50.0%	4回	100.0%					
	中期計画期間における具体的な取組内容(実績)									
	<ul style="list-style-type: none"> ・指標としている資格は一般的に合格率30%程度の難易度の高い資格であるため、資格取得者を確保できるよう、当社の技術士資格を持った有資格の課長級監修による「資格取得研修」を令和2年度・令和3年度に各4回実施した。 									
	指標 II	資格取得(「下水道管理技術認定」又は「下水道技術検定(3種)」)								
		R2	中期計画進捗率	R3【最終】	中期計画進捗率					
	目標値	5名以上	50.0%	5名以上	100.0%					
	実績値	10名	100.0%	12名	220.0%					
中期計画期間における具体的な取組内容(実績)										
<ul style="list-style-type: none"> ・「下水道管理技術認定」及び「下水道技術検定(3種)」において合格者10名(合計)以上となるよう、最新の出題傾向も取り入れ分析した過去問題による模擬試験を実施した。模擬試験後、解答に解説やワンポイントアドバイスを取り入れるなどの取り組みを行った結果、令和2年度・令和3年度合計で合格者22名を達成することができた。 										

外郭団体の自己評価	指標の達成状況	A	A: 指標全部達成 B: 指標全部未達成 C: 指標一部未達成	中期計画の目標達成状況【中期計画期間】	イ	ア: 達成 イ: 達成見込み(計画期間中) ウ: 未達成
	中期計画期間の達成状況について					
	<p>将来にわたって安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態であるための取り組み内容を含めた人材育成計画の策定に向けて、検討会議を重ね、研修の年間実施計画などを再整理するとともに、令和3年度には、人材育成計画を含めた新たな「中期経営計画」を策定する。</p> <p>また、実務経験を有し、かつ技術士(上下水道部門)資格を有する課長級の監修による「資格取得研修」を4回実施し、過去問題における出題傾向等を分析した模擬試験を実施した結果、「下水道管理技術認定」及び「下水道技術検定(3種)」において、この2か年度で目標値を上回る合計22名が合格し、目標を達成することができた。今後も現状の有資格者を維持するため、社員の技術力と知識の向上により技術継承が途切れることのないよう取り組んでいく。</p>					

市の審査	中期計画の目標達成状況【中期計画期間】	イ	ア: 達成 イ: 達成見込み(計画期間中) ウ: 未達成	「様式1: 中期目標(3)」に対する取組の有効性	A	A: 有効だった B: 有効ではなかった
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果					
	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成計画については、現時点での案が示されており、その進捗状況から計画期間中の策定は確実であると見込まれる。 ・有資格者やベテラン技術者の監修による研修について、計画どおり実施し、新たな資格取得について、目標である10名を上回る合格者22名を達成することが出来ており、団体の自己評価は妥当であると考える。 					
	「中期目標」達成の視点からみた審査結果					
<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成計画については、団体の取組課題を抽出し、その対応に必要な人材の確保と育成に向けたものとして策定が進められている。 ・中期計画に定めた研修の着実な実施により、維持管理に関する高度な技術的知識の習得が見られ、その効果として、新たな資格取得者について、中期目標に定めた目標の10名を上回る22名を達成することが出来た。 						